

形成再建外科学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Tanaka K, Kim SE, Yano H, Matsumoto G, Ohuchida R, Ishikura Y, Araki M, Araki, K, Park S, Komatsu T, Hayashi H, Ikematsu K, Tanaka K, Hirano A, Martin P., Shimokawa I, Mori R. MiR-142 Is Required for Staphylococcus aureus Clearance at Skin Wound Sites via Small GTPase-Mediated Regulation of the Neutrophil Actin Cytoskeleton. *J Invest Dermatol*;137(4): 931-940. 2017 doi:10.1016/j.jid.2016.11.018. PMID: 27894934. (IF: 6.287)
2. Tanaka K, Yano H, Hayashi H, Hirano A. Total resection combined with osteotomy is more effective for orbital solitary fibrous tumor excision: a report of three cases. *Int Ophthalmol*. 2017 doi: 10.1007/s10792-016-0421-2. PMID: 28054210. (IF: 1.077)
3. Yanagi H, Terashi H, Takahashi Y, Okabe K, Tanaka K, Kimura C, Ohura N, Goto T, Hashimoto I, Noguchi M, Sasayama J, Shimada K, Sugai A, Tanba M, Nakayama T, Tsuboi R, Sugama J, Sanada H. The Japanese registry for surgery of ischial pressure ulcers: STANDARDS-I. *J Wound Care*. 2018 Mar 2;27(3):174-183. (IF: 1.446)
4. Hirata H, Tanaka K, Sakai A, Kakinoki R, Ikegami H, Tateishi N. Efficacy and safety of collagenase *Clostridium histolyticum* injection for Dupuytren's contracture in non-Caucasian Japanese patients (CORD-J Study): the first clinical trial in a non-Caucasian population. *The Journal of Hand Surgery (European Volume) 2017, Vol. 42E(1) 30-40* (IF: 1.606)
5. Hayashida K, Yoshida S, Yoshimoto H, Fujioka M, Saijo H, Migita K, Kumaya M, Akita S. Adipose-Derived Stem Cells and Vascularized Lymph Node Transfers Successfully Treat Mouse Hindlimb Secondary Lymphedema by Early Reconnection of the Lymphatic System and Lymphangiogenesis. *Plast Reconstr Surg*. 2017 Mar;139(3):639-651 (IF: 3.843)
6. Akita S, Hayashida K, Yoshimoto H, Fujioka M, Senju C, Morooka S, Nishimura G, Mukae N, Kobayashi K, Anraku K, Murakami R, Hirano A, Oishi M, Ikenoya S, Amano N, Nakagawa H; Nagasaki University plastic surgeons group. Novel Application of Cultured Epithelial Autografts (CEA) with Expanded Mesh Skin Grafting Over an Artificial Dermis or Dermal Wound Bed Preparation. *Int J Mol Sci*. 2017 Dec 25;19(1). pii: E57. (IF: 3.226)

B 邦文

B-a

1. 高原英作, 平野明喜, 榎山和也, 大石正雄, 田中克己:両側 No.4 cleft の治療経験,日本形成外科学会誌 37(10) 、2017年

B-b

1. 今村禎伸, 矢野浩規, 田中克己 形成外科珠玉のオペ 基本編-次世代に継承したい秘伝のテクニック- 基本手技 眼窩 眼窩内腫瘍に対する眼窩外側縁骨切り術 形成外科 60 p82-p85, 2017.
2. 今村禎伸, 矢野浩規, 田中克己 成長に寄り添う私の唇裂手術 就学期の口唇鼻形成術 PEPARS 131 p45-p50, 2017.
3. 田中克己、吉本 浩、大石正雄：形成外科 珠玉のオペ[1]基本編—次世代に継承したい秘伝のテクニック 『基本手技 植皮 土ふまずからの厚め分層植皮術』、形成外科、60 巻増刊号：S26-29,201
4. 田中克己、形成外科における縫合法の基本、PEPARS、123：1-5, 2017
5. 大石正雄、田中克己:間葉系悪性腫瘍の特徴と診断アプローチ, PEPARS 122, 2月 2017年

B-c

1. 田中克己、各論Ⅱ 後天性疾患 I 外傷 D. 身体各部の外傷『顔面骨骨折』、TEXT 形成外科学、pp266-275、南山堂、東京、2017
2. 田中克己、骨弁および骨付き皮弁『腸骨弁・腸骨皮弁』、形成外科治療手技全書Ⅱ、形成外科の基本手技2、pp269-273、克誠堂出版、東京、2017
3. 田中克己、Ⅱ急性創傷治療の実際、B. 熱傷『特殊な部位の熱傷』、外科系医師が知っておくべき創傷治療のすべて、pp151-158、南江堂、東京、2017

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	0	6	23

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
田中克己・教授	評議員	日本形成外科学会
田中克己・教授	財務委員会委員	日本形成外科学会
田中克己・教授	専門医認定委員会委員	日本形成外科学会
田中克己・教授	指導医認定委員会委員	日本形成外科学会
田中克己・教授	機関誌編集委員会委員	日本形成外科学会
田中克己・教授	小児形成外科指導医認定委員会委員	日本形成外科学会
田中克己・教授	代議員・理事・副理事長	日本手外科学会
田中克己・教授	カリキュラム委員会担当理事	日本手外科学会
田中克己・教授	専門医制度委員会委員長	日本手外科学会
田中克己・教授	手外科専門医検討委員会委員長	日本手外科学会
田中克己・教授	教育研修委員会委員	日本手外科学会
田中克己・教授	情報システム委員会委員	日本手外科学会
田中克己・教授	学術委員会委員	日本褥瘡学会
田中克己・教授	実態調査委員会委員	日本褥瘡学会
田中克己・教授	評議員等選出検討委員会	日本褥瘡学会
田中克己・教授	評議員	日本熱傷学会
田中克己・教授	学術委員会委員	日本熱傷学会
田中克己・教授	新専門医制度検討特別委員会委員	日本熱傷学会
田中克己・教授	評議員・理事	日本マイクロサージャリー学会
田中克己・教授	会則検討委員会担当理事	日本マイクロサージャリー学会
田中克己・教授	代議員・理事	日本頭蓋顎顔面外科学会
田中克己・教授	将来計画委員会担当理事	日本頭蓋顎顔面外科学会
田中克己・教授	評議員	日本創傷外科学会
田中克己・教授	倫理委員会委員	日本創傷外科学会
田中克己・教授	編集委員会委員	日本創傷外科学会
田中克己・教授	理事	日本形成外科手術手技学会
田中克己・教授	評議員	日本皮膚悪性腫瘍学会
田中克己・教授	代議員	日本頭頸部癌学会
田中克己・教授	評議員	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
矢野浩規・准教授	学会誌編集委員・ガイドライン作成委員	日本形成外科学会
矢野浩規・准教授	代議員・ガイドライン作成委員・学術委員・学会誌編集委員	日本頭蓋顎顔面外科学会
矢野浩規・准教授	世話人	Craniosynostosis 研究会
吉本浩・講師	評議員	日本形成外科学会
吉本浩・講師	社会保険委員会	日本形成外科学会
吉本浩・講師	ガイドライン作成委員	日本形成外科学会
大石正雄・助教	ガイドライン作成委員	日本形成外科学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
吉本 浩・講師	日本学術振興会 基盤研究 C	代表	脂肪組織由来幹細胞による放射線照射リンパ管内皮細胞に対するリンパ管新生効果の検討
今村禎伸・助教	日本学術振興会 若手研究 B	代表	多血小板血漿と脂肪幹細胞の放射線潰瘍治療効果の比較検討